

特定非営利活動法人手話教師センター



2020 年度
コミュニティ及び学術分野における
ろう通訳者・リーダー養成事業
報告書

日本財団助成事業
(事業ID：2019519665)

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

もくじ

はじめに	2
1 人材を確保する (1)	4
2 人材を確保する (2)	6
3 ろうフィを育てる (1)	10
4 ろうフィを育てる (2)	17
5 学術分野に対応できるろうフィを育てる	18
6 資格化をめざす	20
(別紙1) 参加者人数一覧表	22
(別紙2) 都道府県別参加者一覧表	23

参考資料

(案内チラシ)

- ・オンライン翻訳講座
- ・通訳理論講座・ろう通訳養成講座・フィーダー養成講座
- ・通訳理論講座・ろう通訳養成講座・フィーダー養成講座 (修正版：対面・オンライン)
- ・意見交換会
- ・国際手話で言語学を学ぼう

(Google クラスルーム)

- ・オンライン翻訳講座3グループ (スクリーンショット)

(アンケート)

- ・オンライン翻訳講座
- ・通訳理論講座

はじめに

2014年度から「日本手話に特化した翻訳・通訳技術向上支援事業」を実施し、本年度より、ろう通訳者およびリーダーの養成をメインにした「コミュニティ及び学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業」を開始することになった。

ただ、中国で最初に確認されたおける新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2年を経過しても、なお収束の兆しがみられず、計画していた事業は二転三転し、中には中止に追い込まれたものもあった。結果的に本年度は事業を縮小することになった。それでも、できることはやろうというスタンスのもと、下記の通り事業を行なったので報告する。

1) 人材を確保する（1）

ろう通訳者と協働できる聴の手話通訳者の養成の一環として「オンライン翻訳講座」を開講した。日本には、ろう者の言語である日本手話と、手話の単語を借用して表現した日本語としての日本語対応手話の2つがあり、この違いを踏まえた上で、日本手話から日本語への翻訳ができる人が必要である。本年度から、受講レベル毎にコースを設定した。また、新型コロナウイルス感染拡大を受け、すべて対面からオンライン（ZOOM）に移行した。これにより、これまで参加が難しかった地方在住の方が増えたのは良い傾向である。Googleの学習支援ツールクラスルームを導入し、課題のやりとりはすべてクラスルームで完結できるようにした。

- ・オンライン翻訳講座

2) 人材を確保する（2）

ろう者と聴者が協働してよりよい通訳を提供する人材を確保するのが目的である。今年度で6年目となるろう通訳者養成講座（ろう者）、リーダー養成講座（聴者）を開講した。通訳者として高い倫理観を身につけてもらうため、通訳理論講座を開講した。いずれも6月に開講予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため11月に延期し、事業年度を延長した。また、オンラインで対応可能なものはオンラインで実施し、オンラインでは難しいものについては、感染対策を徹底し、対面で実施した。

- ・ろう通訳者養成講座
- ・リーダー養成講座
- ・通訳理論講座

3) ろうフィを育てる（1）

ろう通訳者養成講座（ろう者）、リーダー養成講座（聴者）を修了した人を対象にした研修を行った。講師を招いてのろうフィ研修会、ろう通訳者やリーダーによる自発的な自主研修会、意見交換会を行なった。通訳機会確保（研修）のために予定していた特別講演会については、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。

- ・ろうフィ研修会
- ・自主ろうフィ研修会

- ・意見交換会
- ・特別講演会（中止）

4) ろうフィを育てる（2）

ろう通訳者養成講座（ろう者）、リーダー養成講座（聴者）を修了した人が通訳経験を積むためのOJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、本年度は1件しか実施できなかった。

5) 学術分野に対応できるろうフィを育てる

ろう者や聴覚障害者、手話等の学会、研究会、シンポジウム等に対応できるろう通訳者、リーダーを育てることが目的である。だが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、予定していた事業をいくつか縮小、中止した。

- ・SSLL2020におけるろう通訳の付与
- ・手話言語学講座
- ・英語文献輪読会（中止）
- ・CIT2020における通訳研修（中止）

6) 資格化をめざす

ろう通訳者の養成を行なっている先進的な国、イギリスやデンマークに視察に行く予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大を受け、見送ることになった。

また、NCIECが2016年に公開した”Deaf Interpreter Curriculum”を翻訳し、「ろう通訳養成のカリキュラム」をホームページからダウンロードできるようにした。また、関連団体にQRコードの入ったカードを送付し、各自ダウンロードできるようにした。

- ・海外視察（中止）
- ・”Deaf Interpreter Curriculum”（NCIEC）の日本語訳発行

1 人材を確保する (1)

(1) オンライン翻訳講座 (A グループ)

内容：日本手話から日本語への翻訳トレーニング

翻訳課題 (添削課題) 6本

オンライン学習会 6回 (5/21, 6/4, 6/18, 7/2, 7/16, 7/30、木曜日、19:30-20:00)

対象：手話通訳全国統一試験、または各自治体の登録試験に合格した者

受講者人数：10名 (申込者 25名)

場所：オンライン (ZOOM)

(2) オンライン翻訳講座 (B グループ)

内容：日本手話から日本語への翻訳トレーニング

翻訳課題 (添削課題) 6本

オンライン学習会 6回 (9/3, 9/17, 10/1, 10/15, 10/29, 11/12、木曜日、19:30-20:00)

対象：手話通訳者全国統一試験合格をめざしている者

受講者人数：10名 (申込者 21名)

場所：オンライン (ZOOM)

(3) オンライン翻訳講座 (C グループ)

内容：日本手話から日本語への翻訳トレーニング

翻訳課題 (添削課題) 6本

オンライン学習会 6回 (12/3, 12/17, 1/7, 1/21, 2/4, 2/18、木曜日、19:30-20:00)

対象：手話通訳士

受講者人数：10名 (申込者 24名)

場所：オンライン (ZOOM)

オンライン翻訳講座 A・B 共通

	課題内容
翻訳課題 1	「足の怪我」
翻訳課題 2	「靴のサイズ」
翻訳課題 3	「インテ推進組」
翻訳課題 4	「主婦らしくなった私」
翻訳課題 5	「近所でおきたショックな出来事」
翻訳課題 6	「デフレのしくみ」

オンライン翻訳講座 C

	課題内容
翻訳課題 1	「デフレのしくみ」
翻訳課題 2	「学童疎開の思い出」
翻訳課題 3	「インテ推進組」
翻訳課題 4	「近所でおきたショックな出来事」
翻訳課題 5	「韓国旅行に出発」
翻訳課題 6	「腎臓を大切に」

*本年度は対面からすべてオンライン（ZOOM）に移行したため、旅費助成対象の受講生はいない。

オンライン翻訳講座 受講者人数一覧表

	講座名	定員	受講人数	応募者数	倍率	備考
1	オンライン翻訳講座A	6	10	25	2.5	
2	オンライン翻訳講座B	6	10	21	2.1	
3	オンライン翻訳講座C	6	10	24	2.4	
	計	18	30	70	2.3	

2 人材を確保する (2)

(1) 通訳理論講座

内容：通訳論について理論的に学ぶ (全 15 コマ、22.5 時間)

日時：A グループ：11/14-15, 1/16-17 B グループ：11/21-22, 2/6-7

対象：ろう者 (ろう通訳者含む)、通訳者、通訳コーディネーター、通訳全般に関心のある方

受講者人数：13 名 (申込者 28 名)

* ろう者 8 名 聴者 (手話通訳者) 5 名

* 修了証授与 9 名 / 13 名中

場所：オンライン (ZOOM)

* 本年度は対面からすべてオンライン (ZOOM) に移行したため、旅費助成対象の受講生はいない。

(2) ろう通訳者養成講座

内容：ろう通訳者になるために必要なことを学ぶ (全 35 コマ、52.5 時間)

日時：2020/11/14-2021/05/29 (別途日程表あり)

対象：ろう通訳者をめざすろう者

受講者人数：6 名 (申込者 16 名) 選考あり

* 修了証授与 6 名 / 6 名中

場所：オンライン (ZOOM)

AP 東京丸の内、国立オリンピック記念青少年総合センター

旅費助成：2 名 (山梨 1 名、鹿児島 1 名)

(3) フィーダー養成講座

内容：フィーダーになるために必要なことを学ぶ (全 33 コマ、49.5 時間)

日時：2020/11/14-2021/05/29 (別途日程表あり)

対象：フィーダーをめざす手話通訳者 (手話通訳士含む)

受講者人数：6 名 (申込者 21 名) 選考あり

* 修了証授与 6 名 / 6 名中

場所：オンライン (ZOOM)

AP 東京丸の内、国立オリンピック記念青少年総合センター

旅費助成：1 名 (鹿児島 1 名)

* 修了証について 欠席、遅刻、早退のないことが授与条件。

* 出席率 70% 以上の人は、修了後に通訳 OJT プログラムに登録できる (ろう通訳者養成講座、フィーダー養成講座)

* 緊急事態宣言解除か延長か先が読めない状態だったため前もって受講生にアンケートをとり 3 プラン用意した。結果、B プランを採用し、通訳演習を対面からオンラインに切り替えた。

ろう通訳者養成講座・リーダー養成講座・通訳理論講座 日程表（カリキュラム）

日時	曜	時間	講座形式	講座名	内容
11/14	土	10:40-12:10	オンライン	ろう/フィ	「翻訳」とは何か
		13:10-14:40	オンライン	A通訳理論1	通訳倫理規定の内容と基本的理念
		15:00-16:30	オンライン	A通訳理論2	通訳現場における「場の調整力」(1)
		16:40-18:20	オンライン	A通訳理論3	通訳現場における「場の調整力」(2)
11/15	日	09:00-10:30	オンライン	A通訳理論4	通訳論(1)
		10:40-12:10	オンライン	A通訳理論5	通訳論(2)
		13:10-14:40	オンライン	A通訳理論6	手話通訳者のあり方(1)
		15:00-16:30	オンライン	A通訳理論7	手話通訳者のあり方(2)
11/21	土	09:00-10:30	オンライン	B通訳理論4	通訳論(1)
		10:40-12:10	オンライン	B通訳理論5	通訳論(2)
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論6	手話通訳者のあり方(1)
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論7	手話通訳者のあり方(2)
11/22	日	13:10-14:40	オンライン	B通訳理論1	通訳倫理規定の内容と基本的理念
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論2	通訳現場における「場の調整力」(1)
		16:40-18:20	オンライン	B通訳理論3	通訳現場における「場の調整力」(2)
12/5	土	10:40-12:10	対面/オンライン	ろう通訳	通訳基礎トレーニング(1)
		13:10-14:40	対面/オンライン	ろう通訳	通訳基礎トレーニング(2)
		15:00-16:30	対面/オンライン	ろう/フィ	講義「ろう通訳を経験して」「リーダーを経験して」
		16:40-18:20	対面/オンライン	ろう/フィ	ディスカッション「CO通訳を考える」
1/16	土	10:40-12:10	オンライン	A通訳理論8	コミュニケーション論
		13:10-14:40	オンライン	A通訳理論9	社会言語学視点の手話通訳分野
		15:00-16:30	オンライン	A通訳理論10	ろう通訳者の役割
		16:40-18:20	オンライン	A通訳理論11	聴通訳とろう通訳の協働することの意義
1/17	日	09:00-10:30	オンライン	A通訳理論12	事例検討(1)
		10:40-12:10	オンライン	A通訳理論13	事例検討(2)
		13:10-14:40	オンライン	A通訳理論14	事例検討(3)
		15:00-16:30	オンライン	A通訳理論15	事例検討(4)まとめ
1/30	土	10:40-12:10	対面/オンライン	ろう/フィ	翻訳理論(1) 日本手話→日本語
		13:10-14:40	対面/オンライン	ろう/フィ	翻訳理論(2) 日本語→日本手話
		15:00-16:30	対面/オンライン	ろう/フィ	講義「コミュニティ通訳」
2/6	土	10:40-12:10	オンライン	B通訳理論8	コミュニケーション論
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論9	社会言語学視点の手話通訳分野
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論10	ろう通訳者の役割
		16:40-18:20	オンライン	B通訳理論11	聴通訳とろう通訳の協働することの意義
2/7	日	09:00-10:30	オンライン	B通訳理論12	事例検討(1)
		10:40-12:10	オンライン	B通訳理論13	事例検討(2)
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論14	事例検討(3)
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論15	事例検討(4)まとめ
2/13	土	13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳演習(1) Aチーム
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳演習(2) Aチーム
		16:40-18:20	対面	ろう/フィ	通訳演習(3) Aチーム
2/14	日	10:40-12:10	対面	ろう/フィ	通訳演習(4) Aチーム
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳演習(5) Aチーム
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳演習(6) Aチーム
3/27	土	am	対面	ろう/フィ	(自主準備) Aチーム
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳実習(1) 講演会 通訳 Aチーム オンラインBチーム
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳実習(2) 講演会 通訳 Aチーム オンラインBチーム
		16:40-18:20	対面	ろう/フィ	通訳実習(3) フィードバック・まとめ A・Bチーム
5/15	土	13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳演習(1) Bチーム
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳演習(2) Bチーム
		16:40-18:20	対面	ろう/フィ	通訳演習(3) Bチーム
5/16	日	10:40-12:10	対面	ろう/フィ	通訳演習(4) Bチーム
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳演習(5) Bチーム
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳演習(6) Bチーム
5/29	土	am	対面	ろう/フィ	(自主準備) Bチーム
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳実習(4) 講演会 通訳 Bチーム オンラインAチーム
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳実習(5) 講演会 通訳 Bチーム オンラインAチーム
		16:40-18:20	対面	ろう/フィ	通訳実習(6) フィードバック・まとめ A・Bチーム

Aプラン 緊急事態宣言が予定通り解除された場合					
日時	曜	時間	講座形式	講座名	内容
2/13	土	13:10-14:40	対面	ろう／フィ	通訳演習(1) Aチーム
		15:00-16:30	対面	ろう／フィ	通訳演習(2) Aチーム
		16:40-18:20	対面	ろう／フィ	通訳演習(3) Aチーム
2/14	日	10:40-12:10	対面	ろう／フィ	通訳演習(4) Aチーム
		13:10-14:40	対面	ろう／フィ	通訳演習(5) Aチーム
		15:00-16:30	対面	ろう／フィ	通訳演習(6) Aチーム
3/27	土	am	対面	ろう／フィ	(自主準備) Aチーム
		13:10-14:40	対面	ろう／フィ	通訳実習(1) 講演会 通訳 Aチーム オンラインBチーム
		15:00-16:30	対面	ろう／フィ	通訳実習(2) 講演会 通訳 Aチーム オンラインBチーム
		16:40-18:20	対面	ろう／フィ	通訳実習(3) フィードバック・まとめ A・Bチーム
5/15	土	13:10-14:40	対面	ろう／フィ	通訳演習(1) Bチーム
		15:00-16:30	対面	ろう／フィ	通訳演習(2) Bチーム
		16:40-18:20	対面	ろう／フィ	通訳演習(3) Bチーム
5/16	日	10:40-12:10	対面	ろう／フィ	通訳演習(4) Bチーム
		13:10-14:40	対面	ろう／フィ	通訳演習(5) Bチーム
		15:00-16:30	対面	ろう／フィ	通訳演習(6) Bチーム
5/29	土	am	対面	ろう／フィ	(自主準備) Bチーム
		13:10-14:40	対面	ろう／フィ	通訳実習(4) 講演会 通訳 Bチーム オンラインAチーム
		15:00-16:30	対面	ろう／フィ	通訳実習(5) 講演会 通訳 Bチーム オンラインAチーム
		16:40-18:20	対面	ろう／フィ	通訳実習(6) フィードバック・まとめ A・Bチーム
Bプラン 緊急事態宣言が延長された場合①					
日時	曜	時間	講座形式	講座名	内容
2/13	土	13:10-14:40	オンライン	ろう／フィ	通訳演習(1) Aチーム
		15:00-16:30	オンライン	ろう／フィ	通訳演習(2) Aチーム
		16:40-18:20	オンライン	ろう／フィ	通訳演習(3) Aチーム
2/14	日	10:40-12:10	対面	ろう／フィ	通訳演習(4) Aチーム
		13:10-14:40	対面	ろう／フィ	通訳演習(5) Aチーム
		15:00-16:30	対面	ろう／フィ	通訳演習(6) Aチーム
3/27	土	am	対面	ろう／フィ	(自主準備) Aチーム
		13:10-14:40	対面	ろう／フィ	通訳実習(1) 講演会 通訳 Aチーム オンラインBチーム
		15:00-16:30	対面	ろう／フィ	通訳実習(2) 講演会 通訳 Aチーム オンラインBチーム
		16:40-18:20	対面	ろう／フィ	通訳実習(3) フィードバック・まとめ A・Bチーム
5/15	土	13:10-14:40	オンライン	ろう／フィ	通訳演習(1) Bチーム
		15:00-16:30	オンライン	ろう／フィ	通訳演習(2) Bチーム
		16:40-18:20	オンライン	ろう／フィ	通訳演習(3) Bチーム
5/16	日	10:40-12:10	対面	ろう／フィ	通訳演習(4) Bチーム
		13:10-14:40	対面	ろう／フィ	通訳演習(5) Bチーム
		15:00-16:30	対面	ろう／フィ	通訳演習(6) Bチーム
5/29	土	am	対面	ろう／フィ	(自主準備) Bチーム
		13:10-14:40	対面	ろう／フィ	通訳実習(4) 講演会 通訳 Bチーム オンラインAチーム
		15:00-16:30	対面	ろう／フィ	通訳実習(5) 講演会 通訳 Bチーム オンラインAチーム
		16:40-18:20	対面	ろう／フィ	通訳実習(6) フィードバック・まとめ A・Bチーム
Cプラン 緊急事態宣言が延長された場合②					
日時	曜	時間	講座形式	講座名	内容
2/14 もしくは 2/13	日	13:10-14:40	オンライン	ろう／フィ	通訳演習(1)
		15:00-16:30	オンライン	ろう／フィ	通訳演習(2)
		16:40-18:20	オンライン	ろう／フィ	通訳演習(3)
3/27	土	10:40-12:10	対面	ろう／フィ	通訳演習(4) Aチーム
		13:10-14:40	対面	ろう／フィ	通訳演習(5) Aチーム
		15:00-16:30	対面	ろう／フィ	通訳演習(6) Aチーム
3/28	日	am	対面	ろう／フィ	(自主準備) Aチーム
		13:10-14:40	対面	ろう／フィ	通訳実習(1) 講演会 通訳 Aチーム オンラインBチーム
		15:00-16:30	対面	ろう／フィ	通訳実習(2) 講演会 通訳 Aチーム オンラインBチーム
		16:40-18:20	対面	ろう／フィ	通訳実習(3) フィードバック・まとめ A・Bチーム
5/15	土	10:40-12:10	対面	ろう／フィ	通訳演習(4) Bチーム
		13:10-14:40	対面	ろう／フィ	通訳演習(5) Bチーム
		15:00-16:30	対面	ろう／フィ	通訳演習(6) Bチーム
5/29	土	am	対面	ろう／フィ	(自主準備) Bチーム
		13:10-14:40	対面	ろう／フィ	通訳実習(4) 講演会 通訳 Bチーム オンラインAチーム
		15:00-16:30	対面	ろう／フィ	通訳実習(5) 講演会 通訳 Bチーム オンラインAチーム
		16:40-18:20	対面	ろう／フィ	通訳実習(6) フィードバック・まとめ A・Bチーム

○通訳演習 (1) ～ (6)

日時：A チーム 2021/02/13 (土) ～02/14 (日)

B チーム 2021/05/15 (土) ～05/16 (日)

場所：オンライン (ZOOM)

AP 東京丸の内、国立オリンピック記念青少年総合センター

内容：

通訳打ち合わせの練習 (1 日目)

模擬通訳 (2 日目)

設定内容と各テーマ

- ・ろう協会主催教養講座「進化するメンズビューティ」
- ・永原市ろう協会女性部主催講演会「NHK 手話ニュースこぼれ話」
- ・地域ケアプラザ主催講座「お薬手帳とジェネリック医薬品」
- ・予備「家具からみえる世界 ～英国家具の歴史と様式～」

○通訳実習 (1) ～ (3) A チーム

日時：2021/03/27 (土) 14 時～16 時

場所：AP 東京丸の内 (講師、通訳 A チーム)

* 講演会はオンライン (ZOOM) で実施

内容：特別講演会「電話リレーサービス」

講師：(一財) 日本財団電話リレーサービス職員

参加者人数：183 人 (ZOOM 入室確認数)

○通訳実習 (1) ～ (3) B チーム

日時：2021/05/29 (土) 14 時～16 時

場所：AP 東京丸の内 (通訳 B チーム) *講師はオンラインで参加

* 講演会はオンライン (ZOOM) で実施

内容：特別講演会「翻訳とはなにか～『置き換え』の先にあるもの～」

講師：深井裕美子氏 (翻訳者・通訳者・翻訳講師)

参加者人数：416 人 (ZOOM 入室確認数)

3 ろうフィを育てる (1)

ろう通訳者養成講座およびリーダー養成講座を修了した人を中心に、通訳全般に関する研修を実施した。外部講師による研修会と自主研修会の2つである。新型コロナウイルス感染拡大を受け、すべてオンライン（ZOOM）で実施した。

また、通訳理論講座も含めた歴代受講生による情報交換や意見交換会を行ないたいという声が出てきたので、各講座の修了生に呼びかけてオンラインで実施した。

ろう通訳に対する認知がまだ低く、通訳機会を確保するために2回実施予定だった特別講演会は中止にした。

(1) ろうフィ研修会

第1回

日 時：2020年6月20日（土）19:00～21:00

参加者：20名（ろう通訳者13名、リーダー7名）

講 師：柴田昌彦氏（ろう薬剤師）

内 容：薬と医療現場（診療室でのやりとりの翻訳、外用薬の使い方の実演）

第2回

日 時：2020年7月18日（土）19:00～21:00

参加者：19名（ろう通訳者12名、リーダー7名）

講 師：柴田昌彦氏（ろう薬剤師）

内 容：薬と医療現場（第1回の続き）

第3回

日 時：2021年3月2日（火）19:45～21:45

参加者：16名（ろう通訳者9名、リーダー7名）

講 師：嶋本恭規氏（全日本ろうあ連盟理事）

内容：「アジアの現状を知ろう」

（アジアのろう者の現状や国連及び ESCAP 等の活動、各国の国際手話について）

(2) 意見交換会

日 時：2021年3月9日（火）20:00～21:00@Zoom

参加者：26名

- ・ろう通訳者養成講座修了生9名
- ・リーダー養成講座修了生7名
- ・通訳理論講座修了生10名

ファシリテーター3名：川上 恵、江原こう平、宮澤典子

(3) ろうフィ自主研修会

第1回

日 時：2020年5月20日（水）20:00～21:20（担当：武田）

参加者：20名（ろう通訳者13名、聴手話通訳者7名）

内 容：MJさんの動画（<https://youtu.be/QzBeSy5OXuc>）についての意見交換
通訳研修（日本語対応手話話者の話を日本手話に通訳）



第2回

日 時：2020年5月22日（金）19:00～20:30（担当：蓮池）

参加者：14名（ろう通訳者11名、聴手話通訳者3名）

内 容：首相官邸通訳（字幕を見て手話に通訳）

https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/statement/2020/0514kaiken.html



第3回

日 時：2020年5月25日（月）19:00～20:30（担当：宮澤）

参加者：16名（ろう通訳者11名、聴手話通訳者5名）

内 容：医療場面の通訳2題（事前情報あり、受診の流れ）

※ろう・フィーダーペアで通訳。

実技後に意見交換

第4回

日 時：2020年5月29日（金）20:00～21:30（担当：前川）

参加者：14名（ろう通訳者11名、聴手話通訳者3名）

内 容：Youtubeを使って模擬通訳。※ろう・フィーダーペアで通訳。

実技後の意見交換

<https://www.youtube.com/watch?v=0hoOp2YiEWY>



第5回

日 時：2020年6月8日（月）20:00~21:30（担当：河合）

参加者：14名（ろう通訳者11名、聴手話通訳者3名）

内 容：日本語を読んでフィーダー・通訳ペアで通訳。実技後の意見交換。

第6回

日 時：2020年6月11日（木）20:00~21:30（担当：小林信）

参加者：15名（ろう通訳者9名、聴手話通訳者6名）+ろう薬剤師 柴田昌彦氏

内 容：5月25日（月）医療模擬通訳に使用した日本語を翻訳

第7回

日 時：2020年6月17日（水）20:00~21:30（担当：木村）

参加者：16名（ろう通訳者11名、聴手話通訳者5名）

内 容：「ラムネ」（第5回で使った教材）を翻訳・フィード技法で実技

第8回

日 時：2020年6月25日（木）20:00~21:30（担当：小野寺）

参加者：12名（ろう通訳9名、聴手話通訳者3名）

内 容：日本語の文末表現を翻訳。

第9回

日 時：2020年7月9日（木）20:00~21:30（担当：小林信）

参加者：13名（ろう通訳7名、聴手話通訳者4名）++ろう薬剤師 柴田昌彦氏

内 容：5/25、6/11にやった医療場面の翻訳（第3回、第6回の続き）

第10回

日 時：2020年7月27日（月）20:00~21:30（担当：衣川）

参加者：10名（ろう通訳8名、聴手話通訳者2名）+森亜美氏

内 容：日本語→日本手話への翻訳（「百舌鳥・古市古墳群」）

<https://mainichi.jp/articles/20200717/kei/00s/00s/019000c>



第11回

日 時：2020年7月29日（水）20:00~21:30（担当：瀧澤）

参加者：13名（ろう通訳9名、聴手話通訳者4名）

内 容：SDGsについてフィーダーを見てどう表現するか実技。

第12回

日時：2020年8月17日（月）20:00~21:30（担当：小林信）

参加者：5名（ろう通訳5名、聴手話通訳者0名）

内容：文脈によって増減に関する多様な手話表現について話し合い。

第13回

日時：2020年8月24日（月）20:00~21:30（担当：戸田）

参加者：8名（ろう通訳6名、聴手話通訳者2名）

内容：テーマを前もって調べておく→当日、フィーダーを見てどう表現するか実技。

第14回

日時：2020年9月2日（水）20:00~21:30（担当：宮澤）

参加者：7名（ろう通訳6名、聴手話通訳者1名）

内容：デフレについて（説明→日本語を見て表現→フィーダーを見て表現）

第15回

日時：2020年9月15日（火）20:00~21:30（担当：蓮池）

参加者：7名（ろう通訳6名、聴手話通訳者1名）

内容：通訳翻訳学会のプロジェクトチームへの報告内容の共有（手話通訳とは？）

第16回

日時：2020年9月29日（火）20:00~21:30（担当：寺澤）

参加者：5名（ろう通訳5名、聴手話通訳者0名）

内容：ビジネスメールのマナー（日本語を見て表現）

第17回

日時：2020年10月21日（水）20:00~21:30（担当：仁木）

参加者：7名（ろう通訳6名、聴手話通訳者1名）

内容：「パプリカ」の歌詞の翻訳

<https://www.uta-net.com/song/254123/>



第18回

日時：2020年10月28日（水）20:00~21:30（担当：角田）

参加者：7名（ろう通訳5名、聴手話通訳者2名）

内容：カタカナ英語や和製英語の通訳方法・模擬通訳

https://www.youtube.com/watch?v=Homq0zCh_oU



第19回

日時：2020年11月18日（水）20:00~21:30（担当：湯山）

参加者：8名（ろう通訳7名、聴手話通訳者1名）

内容：ジョークの翻訳について

第20回

日時：2020年11月20日（金）20:00~21:30（担当：蓮池・武田・黒坂）

参加者：9名（ろう通訳7名、フィーダー2名）

内容：オンライン通訳時の方法・課題について情報共有
（SSLL2020の質疑応答を中心に）

第21回

日時：2020年12月16日（水）20:00~21:30（担当：小林信）

参加者：7名（ろう通訳5名、聴手話通訳者2名）

内容：模擬通訳

https://www.youtube.com/watch?v=dJT_L6d_fU8



第22回

日時：2020年12月23日（水）20:00~21:30（担当：前川・荒井・蓮池・小林雅）

参加者：9名（ろう通訳7名、聴手話通訳者2名）

内容：オンデマンド方式の方法・課題について情報共有（全日叢研）

第23回

日時：2021年1月14日（木）20:00~21:30（担当：小林信）

参加者：7名（ろう通訳4名、聴手話通訳者3名）

内容：各国のジョークの翻訳

第24回

日時：2021年1月20日（水）20:00~21:30（担当：寺澤）

参加者：12名（ろう通訳6名、聴手話通訳者6名）

内容：テレビ収録の通訳方法について・模擬通訳

<https://www.youtube.com/watch?v=hqHM0-7i9vI>



第25回

日時：2021年2月17日（水）20:00~21:30（担当：黒坂）

参加者：5名（ろう通訳4名、聴手話通訳者1名）

内容：政見放送の通訳方法について・模擬通訳（字幕や手話が付与されている動画）

<https://www.youtube.com/watch?v=EfcEeP22vOU>

<https://www.youtube.com/watch?v=iLW8bGYXnTo>

<https://www.youtube.com/watch?v=V9zvlpOE1TA>



第26回

日時：2021年2月24日（水）20:00~21:30

※欠席者が多いため中止

第27回

日時：2021年3月11日（水）20:00~21:30（担当：瀧澤）

参加者：8名（ろう通訳4名、聴手話通訳者4名）

内容：Youtubeの音声を聞いて通訳（場面設定はオンラインでの通訳）

https://www.youtube.com/watch?v=8q_rP3hYigI



第28回

日時：2021年3月24日（水）20:00~21:30（担当：小野寺）

参加者：6名（ろう通訳4名、聴手話通訳者2名）

内容：手話の語彙の間違いを探そう

第29回

日時：2021年4月7日（水）20:00~21:30（担当：宮澤）

参加者：7名（ろう通訳4名、聴手話通訳者3名）

内容：模擬通訳（医療場面）

(5) 通訳研修（通訳機会の確保）としての特別講演会

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、オンライン（ZOOM）で特別講演会を催すためのノウハウが蓄積されておらず、特別講演会を計画的に実施することは困難であったため、全面的に見送った。

4 ろうフィを育てる (2)

ろう通訳者・フィーダーの通訳訓練の場として、通訳 OJT (On the Job Training) を実施したが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、本年度はオンサイトでの通訳はなかった。

通訳 OJT プログラム (1 件)

第 54 回全日本聾教育研究大会 (埼玉大会) における配信映像 (特別講演) に手話通訳を挿入

配信日時: 2020 年 10 月 9 日 (日)

通訳チーム: ろう通訳者 2 名、聴手話通訳者 (フィーダー) 2 名

OJT の流れ

- ・ 事前準備

 - 講演テーマに関する情報収集、関連資料の読み込み

 - 講演資料 (パワーポイント等) の読み込み

 - 配信用映像 (講演) の音声文字起こし

 - 配信用映像にあわせた字幕動画作成

- ・ 通訳チーム打ち合わせ (オンライン)

 - 衣装や通訳者の背景の色等の確認

 - パワーポイントの内容の最終確認

 - 専門用語の手話表現統一確認作業

- ・ 収録

 - 撮影機材の用意、セッティング

 - キュー出し、撮影等

収録後、モニターにてチェック

- ・ フィードバック

- ・ 通訳報告書の提出

5 学術分野に対応できるろうフィを育てる

ろう者や聴覚障害者、手話等の学会、研究会、シンポジウム等に対応できるろう通訳者、聴手話通訳者（フィーダー）を育てることが目的である。

だが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、予定していた事業をいくつか縮小、中止した。下記は実施したものとなる。

(1) SSSL2020 における手話通訳

新型コロナウイルス感染拡大を受け、SSLL2020（手話言語と音声言語に関する民博フェスタ 2020）は、すべてオンラインで実施することになった。



日時：2020年9月25日（金）～10月2日（金）オンデマンド配信
2020年10月4日（日）オンライン質疑応答

オンデマンド配信動画における手話通訳

・国内講座のオンデマンド講演

「手話の文法と運用」（高嶋由布子）

「日本手話の音韻配列論 ～音節の適格性・不適格生～」（原大介）

「非手指要素とマウジング」（岡田智裕）

「手話の言語発達とホームサイン・共有手話」（武居渡）

「宮窪手話（共有手話）の特徴」（矢野羽衣子）

・招待講演

ダイアン・ブレンタリ教授（シカゴ大学）

「感覚モダリティと社会的要因が音韻システムにもたらす影響：手話言語がもたらす知見」

上記のうち、ろう通訳を付与したのは、国内講座3件、招待講演1件である。いずれも配信動画にろう通訳を挿入した。また、ろう通訳ではないが、「宮窪手話（共有手話）の特徴」については、当事業の延長上として、音声日本語に通訳したものを文字に起こし、字幕挿入するための文字データを提供した。

オンライン質疑応答における手話通訳

東京と名古屋の2箇所においてオンラインで通訳を行なった。東京と名古屋でWi-Fi環境のある部屋を借り、それぞれろう通訳者と聴手話通訳者がペアになって、ライブで手話通訳を行なった。

○通訳チーム

「手話の文法と運用」

ろう通訳者 1 人・聴手話通訳者（フィーダー） 1 人

「日本手話の音韻配列論 ～音節の適格性・不適格性～」

ろう通訳者 1 人・聴手話通訳者（フィーダー） 1 人

「手話の言語発達とホームサイン・共有手話」

ろう通訳者 1 人・聴手話通訳者（フィーダー） 1 人

「感覚モダリティと社会的要因が音韻システムにもたらす影響：手話言語がもたらす知見」

ろう通訳者 2 人・聴手話通訳者（フィーダー） 2 人

「オンライン質疑応答」

ろう通訳 2 人・聴手話通訳者（フィーダー） 2 人

(2) 手話言語学講座

SSLR や TISLR (Theoretical Issues in Sign Language Research、国際手話言語学会) での通訳に対応できるよう、ろう通訳者およびフィーダーを対象にした手話言語学講座をオンラインで実施した。国際手話 (International Sign) を身につけるとよりキャパシティを増やせるということから、学術通訳に長け、また、指導力に定評のあるナイジェル・ハワード氏 (ろう通訳者) が担当した。

「国際手話で言語学を学ぼう」

日 時：2020 年 11 月 7 日～2021 年 5 月 22 日 (全 9 回、20 時間)

(11/7, 11/28, 1/9, 2/6, 2/23, 3/6, 3/20 各 2 時間、14 時間)

(5/8, 5/22 各 3 時間、6 時間)

場 所：オンライン (ZOOM)

講 師：ナイジェル・ハワード氏 (カナダ、ろう通訳者)

参加者：17 名 (ろう通訳者 12 名、聴手話通訳者 5 名) ※申込者は 21 名

内 容：言語学

*イマージョン方式にて実施

(3) 英語文献輪読会

英語力を身につけるための輪読会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、やむなく中止となった。

(4) CIT2020 における通訳研修

2020 年 8 月 12 日～15 日にアメリカミネソタ州ミネアポリスで開催される予定だった CIT 会議 (全米手話通訳養成者会議) は、新型コロナウイルス感染症の発生により中止となった。そのため、CIT2020 における通訳研修も自動的に機会消失となった。

6 資格化をめざす

(1) 海外視察

ろう通訳者養成において先進的な取り組みをしているイギリス (Heriot-Watt University、ヘリオット・ワット大学)、カナダを 2021 年 1～2 月に視察する予定であったが、新型コロナウイルス感染症が収束する兆しがなく、中止 (延期) することになった。これに伴い、視察報告会の開催を中止した。

(2) 「ろう通訳カリキュラム」日本語訳の発行

2016 年に全米通訳教育センター連合会 (National Consortium of Interpreter Education, NCIEC) から発行された“Deaf Interpreter Curriculum”の日本語訳版を完成させた。

『ろう通訳カリキュラム (日本語版)』

構成

- 第 1 編 ろう通訳 過去、現在、未来
- 第 2 編 ろうコミュニティ内の人種、文化の多様性
- 第 3 編 通訳利用者の把握 —文化、言語、コミュニケーションスタイルの確認
- 第 4 編 ろう通訳者の倫理の考察及び課題
- 第 5 編 ろう通訳利用者の通訳理論と実践
- 第 6 編 聴／ろう、ろう／ろう通訳チーム

発行日：2021 年 7 月 15 日

日本語版発行：特定非営利活動法人手話教師センター

日本語訳：岡 典栄・高木真知子・森 亜美

レイアウトデザイン：杉原大介

ページ数：294 ページ

PDF は特定非営利活動法人手話教師センターのホームページからダウンロードできる。



また、QR コードの入った名刺サイズのカードを作成し、手話通訳技能認定試験 (手話通訳士試験) 実施機関である社会福祉法人聴力障害者情報文化センターをはじめ、情報提供施設、一般社団法人日本手話通訳士協会、一般財団全日本ろうあ連盟とその傘下団体、全国手話通訳者問題研究会各支部等、全国の関連機関に発送した。(約 140 通)

カード（表）



日本語版発行：
特定非営利活動法人手話教師センター
日本語訳：
岡 典栄・高木真知子・森 亜美
レイアウトデザイン：杉原大介
ページ数：294ページ
発行日：2021年7月15日

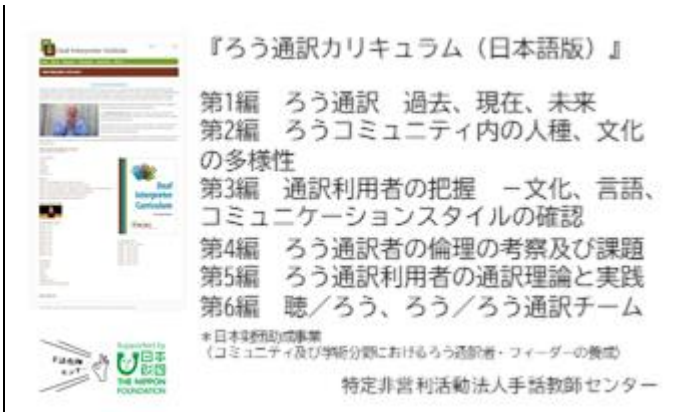
PDF等は無料でダウンロードできます。📄

*日本財団助成事業
(コミュニティ及び学術分野におけるろう通訳者・ファイターの養成)

2018 第294号

NCIEC

カード（裏）



『ろう通訳カリキュラム (日本語版)』

第1編 ろう通訳 過去、現在、未来
第2編 ろうコミュニティ内の人種、文化の多様性
第3編 通訳利用者の把握 -文化、言語、コミュニケーションスタイルの確認
第4編 ろう通訳者の倫理の考察及び課題
第5編 ろう通訳利用者の通訳理論と実践
第6編 聴/ろう、ろう/ろう通訳チーム

*日本財団助成事業
(コミュニティ及び学術分野におけるろう通訳者・ファイターの養成)

特定非営利活動法人手話教師センター

(別紙1) 参加者人数

事業年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	小計	計
翻訳講座 (聴者コース)	8	-	-	-	-	-	-	8	353
翻訳講座 (ろう者コース)	8	-	-	-	-	-	-	8	
翻訳講座 (単発)	8	-	-	-	-	-	-	8	
翻訳講座 (全15回)	-	-	18	16	16	16	-	66	
翻訳講座 (全5回)	-	26	30	24	24	23	-	127	
オンライン翻訳講座*	15	15	19	19	22	16	30	136	
講師養成講座	8	9	2	-	-	-	-	19	19
通訳理論講座	-	11	6	13	12	13	13	68	68
ろう通訳者養成講座	-	9	7	6	4	8	6	40	66
フィーター養成講座	-	6	4	2	4	4	6	26	
学術関連セミナー	-	-	-	252	-	-	-	252	252
手話言語学講座	-	-	-	-	-	-	17	17	17
ろうフィ研修会	-	-	-	-	64	94	55	213	606
ろうフィ自主研修会	-	-	-	-	62	28	277	367	
意見交換会	-	-	-	-	-	-	26	26	
ろう通訳シンポジウム	266	266	-	77	-	72	-	681	681
特別セミナー、特別講演会等	51	16	15	-	101	272	599	1054	1054
ろう通訳資格勉強会	-	-	-	-	24	-	-	24	24
海外視察派遣 (通訳含む)	-	8	7	-	8	-	-	23	23
海外視察報告会	-	55	44	-	-	-	-	99	99
計	364	421	152	409	341	546	1029	3262	3262
*オンライン翻訳講座の前身はe-ラーニング翻訳講座 (～2019)									(人数)
事業年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	小計	
通訳OJTプログラム	-	-	15	9	21	27	1	73	
ろうフィ研修会	-	-	-	-	9	7	3	19	
ろうフィ自主研修会	-	-	-	-	11	5	29	45	
通訳研修 (特別講演会)	-	-	-	-	5	5	0	10	
計	0	0	15	9	46	44	33	147	
									(件数)

(別紙2) 都道府県別参加者人数 (2020年度)

	オンライン 翻訳講座A	オンライン 翻訳講座B	オンライン 翻訳講座C	通訳理論 講座	ろう通訳者 養成講座	リーダー 養成講座
北海道						
青森県						
岩手県						
宮城県			1			
秋田県						
山形県						
福島県	1					
茨城県						
栃木県			1			
群馬県						
埼玉県	2	1	1	1	2	
千葉県		1				
東京都	5	4	2	4	2	5
神奈川県	1	1		1		
新潟県			1			
富山県						
石川県						
福井県				1		
山梨県				1	1	
長野県				1		
岐阜県						
静岡県						
愛知県	1	1	1			
三重県				1		
滋賀県						
京都府						
大阪府		1				
兵庫県		1		1		
奈良県			1			
和歌山県						
鳥取県						
島根県						
岡山県						
広島県						
山口県						
徳島県						
香川県				1		
愛媛県						
高知県						
福岡県			1			
佐賀県						
長崎県						
熊本県						
大分県						
宮崎県						
鹿児島県				1	1	1
沖縄県			1			
	10	10	10	13	6	6

オンライン翻訳講座受講生募集のご案内

翻訳の考え方を見直そう！

(コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業)



自宅にいながら学べるオンライン翻訳講座を開講する運びとなりましたので、ご案内します。

インターネットにアクセスできる環境とマイク・カメラ（ウェブカメラ）がついているパソコンをご用意ください。

翻訳課題は6本を予定しており、丁寧に添削します。オンラインによる学習会は6回です。

内容：翻訳課題6本、オンライン学習会6回

対象：Aグループ 手話通訳者全国統一試験、または各自治体の登録試験に合格した者

Bグループ 手話通訳者全国統一試験合格をめざしている者

Cグループ 手話通訳士

受講定員：各6名

受講料：一般12,000円、サポーター10,000円

【添削課題 締め切り】水曜日

Aグループ 5/13, 5/27, 6/10, 6/24, 7/8, 7/22

Bグループ 8/26, 9/9, 9/23, 10/7, 10/21, 11/4

Cグループ 11/25, 12/9, 12/23, 1/13, 1/27, 2/10

【オンライン学習会】木曜日 19:30-21:00

Aグループ 5/21, 6/4, 6/18, 7/2, 7/16, 7/30

Bグループ 9/3, 9/17, 10/1, 10/15, 10/29, 11/12

Cグループ 12/3, 12/17, 1/7, 1/21, 2/4, 2/18

【申し込み期限】

Aグループ 4/24（金） * 4/30前後に抽選の結果をお知らせします

Bグループ 6/26（金） * 7/2前後に抽選の結果をお知らせします

Cグループ 9/25（金） * 10/1前後に抽選の結果をお知らせします

お申込は下記サイトをご利用ください。

<https://forms.gle/qHJxNeZQciL8YzfW8>

QRコードからもお申込みできます。📄



*応募者多数の場合は、抽選になります。

*定員に満たなかった場合、中止することがあります。

*ご入金いただいた後の返金はできません。

通訳理論講座

ろう通訳者養成講座・リーダー養成講座のご案内（6期生）

（コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業）

本年度も「通訳理論講座」「ろう通訳者養成講座（6期生）」「リーダー養成講座（6期生）」を開講します。ろう通訳者やリーダーに対する理解も少しずつ広がってきています。ろう通訳者も、もちろん通訳者のひとりとして通訳倫理を遵守しなければなりません。ろう通訳者と聴手話通訳者が協働して、よりよい通訳を提供するために、まず受講してみませんか。修了後は、通訳OJT（職業訓練）プログラムに参加できます。遠隔地の方は、旅費の助成金があります。

「ろうフィ養成講座」＝ろう通訳者養成講座・リーダー養成講座を略したものです

【通訳理論講座】15コマ

（対象）ろう者、通訳者、通訳コーディネーター、通訳全般に関心のある方

*音声日本語への通訳はありません

【ろう通訳者養成講座】35コマ

（対象）日本手話を第一言語とするろう者で、書記日本語の読み書きができる方

【リーダー養成講座】33コマ

（対象）手話通訳士等、手話通訳に関して何らかの資格を有している方

【日程・会場・受講料等】

会 場 国立オリンピック青少年総合センター、大田区内の公共施設等（予定）

通訳理論講座 2020年11月14日（土）～2021年2月7日（日）

ろうフィ養成講座 2020年11月14日（土）～2021年3月28日（土）

*スケジュール等、詳細は裏面をご参照ください

受講料 通訳理論講座 一般15,000円 会員・サポーター13,000円

ろう通訳者養成講座 一般35,000円 会員・サポーター30,000円*

リーダー養成講座 一般30,000円 会員・サポーター25,000円*

*過去に「通訳理論講座」を受講し、修了証を有している方は、通訳理論講座の受講を免除します。受講料が1万円減額されます。再受講する場合、受講料の減免はありません。

【受講までの流れ】

- ・通訳理論講座（抽選）

応募締切10/18、10/26前後に抽選結果をメールで通知

- ・ろうフィ養成講座（選考）

応募締切9/27 *9月末までに選考方法について応募者全員にメールで通知

選考課題提出期限10/18、10/26前後に選考結果をメールで通知

【旅費助成について】 関東1都6県（茨城・栃木・群馬・埼玉・東京・千葉・神奈川）以外の地域にお住まいの方に旅費の一部を助成します。講座が1日の場合は上限15,000円/1回、2日連続の場合は、宿泊費用を含め、上限22,000円/1回です。ただし、全回出席していることが助成条件となります。一度でも欠席、遅刻・早退のある方は助成を受けられません。希望者多数の場合は抽選になります。詳細は下記事務局までお問い合わせください。

お申込は下記サイトをご利用ください。
<https://forms.gle/TYWjFBzfXmFrMDQp7>
QRコードからもお申込みできます。



特定非営利活動法人手話教師センター事務局
事務局： info@jsltc.org
URL: <http://www.jsltc.org/>
fax: 03-4579-0518

★新型コロナウイルス感染拡大等の諸問題が収束しない場合、中止することがあります。

通訳理論講座

ろう通訳者養成講座・ファイダー養成講座（6期） 2020年度

通訳理論講座 15コマ ろう通訳者養成講座35コマ ファイダー養成講座33コマ

日時	曜	時間	講座名	内容	講座名	講座名
11/14	土	10:40-12:10		「翻訳」とは何か	ろう通訳者1	ファイダー1
		13:10-14:40	通訳理論1	通訳倫理規定の内容と基本的理念	ろう通訳者2	ファイダー2
		15:00-16:30	通訳理論6	通訳現場における「場の調整力」(1)	ろう通訳者3	ファイダー3
		16:40-18:20	通訳理論7	通訳現場における「場の調整力」(2)	ろう通訳者4	ファイダー4
11/15	日	09:00-10:30	通訳理論4	手話通訳者のあり方(1)	ろう通訳者5	ファイダー5
		10:40-12:10	通訳理論5	手話通訳者のあり方(2)	ろう通訳者6	ファイダー6
		13:10-14:40	通訳理論2	通訳論(1)	ろう通訳者7	ファイダー7
		14:55-16:25	通訳理論3	通訳論(2)	ろう通訳者8	ファイダー8
12/5	土	10:40-12:10		通訳基礎トレーニング(1)	ろう通訳者9	
		13:10-14:40		通訳基礎トレーニング(2)	ろう通訳者10	
		15:00-16:30		講義「ろう通訳を経験して」「ファイダーを経験して」	ろう通訳者11	ファイダー9
		16:40-18:20		ディスカッション「CO通訳を考える」	ろう通訳者12	ファイダー10
1/30	日	10:40-12:10		講義「コミュニティ通訳」	ろう通訳者13	ファイダー11
		13:10-14:40		翻訳理論(1) 日本手話→日本語	ろう通訳者14	ファイダー12
		14:55-16:25		翻訳理論(2) 日本語→日本手話	ろう通訳者15	ファイダー13
2/6	土	10:40-12:10	通訳理論8	コミュニケーション論	ろう通訳者16	ファイダー14
		13:10-14:40	通訳理論9	社会言語学視点の手話通訳分野	ろう通訳者17	ファイダー15
		14:55-16:25	通訳理論10	ろう通訳者の役割	ろう通訳者18	ファイダー16
		16:40-18:20	通訳理論11	聴通訳とろう通訳の協働することの意義	ろう通訳者19	ファイダー17
2/7	日	09:00-10:30	通訳理論12	事例検討(1)	ろう通訳者20	ファイダー18
		10:40-12:10	通訳理論13	事例検討(2)	ろう通訳者21	ファイダー19
		13:10-14:40	通訳理論14	事例検討(3)	ろう通訳者22	ファイダー20
		14:55-16:25	通訳理論15	事例検討(4)まとめ	ろう通訳者23	ファイダー21
2/13	土	13:10-14:40		通訳演習(1)	ろう通訳者24	ファイダー22
		14:55-16:25		通訳演習(2)	ろう通訳者25	ファイダー23
2/14	日	09:00-10:30		通訳演習(3)	ろう通訳者26	ファイダー24
		10:40-12:10		通訳演習(4)	ろう通訳者27	ファイダー25
		13:10-14:40		通訳演習(5)	ろう通訳者28	ファイダー26
		14:55-16:25		通訳演習(6)	ろう通訳者29	ファイダー27
3/27	土	am		(自主準備)	*	*
		13:10-14:40		通訳実習(1) 講演会 通訳	ろう通訳者30	ファイダー28
		14:55-16:25		通訳実習(2) 講演会 通訳	ろう通訳者31	ファイダー29
		16:40-18:20		通訳実習(3) フィードバック・まとめ	ろう通訳者32	ファイダー30
3/28	日	am		(自主準備)	*	*
		13:10-14:40		通訳実習(4) 講演会 通訳	ろう通訳者33	ファイダー31
		14:55-16:25		通訳実習(5) 講演会 通訳	ろう通訳者34	ファイダー32
		16:40-18:20		通訳実習(6) フィードバック・まとめ	ろう通訳者35	ファイダー33

※本事業は、日本財団の「コミュニティ及び学術分野におけるろう通訳者・ファイダーの養成事業」として実施されるものです。

オンライン&対面

通訳理論講座

ろう通訳者養成講座・リーダー養成講座のご案内（6期生）

（コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業）

本年度も「通訳理論講座」「ろう通訳者養成講座（6期生）」「リーダー養成講座（6期生）」を開講します。ろう通訳者やリーダーに対する理解も少しずつ広がってきています。ろう通訳者も、もちろん通訳者のひとりとして通訳倫理を遵守しなければなりません。ろう通訳者と聴手通訳者が協働して、よりよい通訳を提供するために、まず受講してみませんか。修了後は、通訳OJT（職業訓練）プログラムに参加できます。遠隔地の方は、旅費の助成金があります。

「ろうフィ養成講座」=ろう通訳者養成講座・リーダー養成講座を略したものです

【通訳理論講座】15コマ

（対象）ろう者、通訳者、通訳コーディネーター、通訳全般に関心のある方

*音声日本語への通訳はありません

【ろう通訳者養成講座】35コマ

（対象）日本手話を第一言語とするろう者で、書記日本語の読み書きができる方

【リーダー養成講座】33コマ

（対象）手話通訳士等、手話通訳に関して何らかの資格を有している方

【日程・会場・受講料等】

会場 オンライン（ZOOM）/対面（東京都心の貸会議室）

通訳理論講座

Aクラス 2020年11月14日-15日、2021年1月16日-17日

Bクラス 2020年11月21日-22日、2021年2月6日-7日

ろうフィ養成講座 2020年11月14日（土）～2021年3月28日（日）

*スケジュール等、詳細は裏面をご参照ください

受講料（当初の受講料より10%引になっております）

通訳理論講座 一般13,500円 会員・サポーター11,700円

ろう通訳者養成講座 一般31,500円 会員・サポーター27,000円*

リーダー養成講座 一般27,000円 会員・サポーター22,500円*

*過去に「通訳理論講座」を受講し、修了証を有している方は、通訳理論講座の受講を免除します。

受講料が9,000円減額されます。再受講する場合、受講料の減免はありません。

【受講までの流れ】

- ・通訳理論講座（抽選）

応募締切10/18、10/26前後に抽選結果をメールで通知

- ・ろうフィ養成講座（選考）

応募締切9/27 *9月末までに選考方法について応募者全員にメールで通知

選考課題提出期限10/18、10/26前後に選考結果をメールで通知

【旅費助成について】関東1都6県（茨城・栃木・群馬・埼玉・東京・千葉・神奈川）以外の地域にお住まいの方に旅費の一部を助成します。講座が1日の場合は上限15,000円/1回、2日連続の場合は、宿泊費用を含め、上限22,000円/1回です。ただし、全回出席していることが助成条件となります。一度でも欠席、遅刻・早退のある方は助成を受けられません。希望者多数の場合は抽選になります。詳細は下記事務局までお問い合わせください。



お申し込みはQRコードから

特定非営利活動法人手話教師センター事務局

事務局： info@jsltc.org

URL: <http://www.jsltc.org/>

fax: 03-4579-0518

通訳理論講座・ろう通訳者養成講座（6期）・フィーター養成講座（6期） 2020年度 日程表

日時	曜	時間	講座形式	講座名	内容
11/14	土	10:40-12:10	オンライン	ろう/フィ	「翻訳」とは何か
		13:10-14:40	オンライン	A通訳理論1	通訳倫理規定の内容と基本的理念
		15:00-16:30	オンライン	A通訳理論2	通訳現場における「場の調整力」(1)
		16:40-18:20	オンライン	A通訳理論3	通訳現場における「場の調整力」(2)
11/15	日	09:00-10:30	オンライン	A通訳理論4	手話通訳者のあり方(1)
		10:40-12:10	オンライン	A通訳理論5	手話通訳者のあり方(2)
		13:10-14:40	オンライン	A通訳理論6	通訳論(1)
		15:00-16:30	オンライン	A通訳理論7	通訳論(2)
11/21	土	09:00-10:30	オンライン	B通訳理論4	手話通訳者のあり方(1)
		10:40-12:10	オンライン	B通訳理論5	手話通訳者のあり方(2)
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論6	通訳論(1)
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論7	通訳論(2)
11/22	日	13:10-14:40	オンライン	B通訳理論1	通訳倫理規定の内容と基本的理念
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論2	通訳現場における「場の調整力」(1)
		16:40-18:20	オンライン	B通訳理論3	通訳現場における「場の調整力」(2)
12/5	土	10:40-12:10	対面/オンライン	ろう通訳	通訳基礎トレーニング(1)
		13:10-14:40	対面/オンライン	ろう通訳	通訳基礎トレーニング(2)
		15:00-16:30	対面/オンライン	ろう/フィ	講義「ろう通訳を経験して」「フィーターを経験して」
		16:40-18:20	対面/オンライン	ろう/フィ	ディスカッション「CO通訳を考える」
1/16	土	10:40-12:10	オンライン	A通訳理論8	コミュニケーション論
		13:10-14:40	オンライン	A通訳理論9	社会言語学視点の手話通訳分野
		15:00-16:30	オンライン	A通訳理論10	ろう通訳者の役割
		16:40-18:20	オンライン	A通訳理論11	聴通訳とろう通訳の協働することの意義
1/17	日	09:00-10:30	オンライン	A通訳理論12	事例検討(1)
		10:40-12:10	オンライン	A通訳理論13	事例検討(2)
		13:10-14:40	オンライン	A通訳理論14	事例検討(3)
		15:00-16:30	オンライン	A通訳理論15	事例検討(4)まとめ
1/30	土	10:40-12:10	対面/オンライン	ろう/フィ	講義「コミュニティ通訳」
		13:10-14:40	対面/オンライン	ろう/フィ	翻訳理論(1) 日本手話→日本語
		15:00-16:30	対面/オンライン	ろう/フィ	翻訳理論(2) 日本語→日本手話
2/6	土	10:40-12:10	オンライン	B通訳理論8	コミュニケーション論
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論9	社会言語学視点の手話通訳分野
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論10	ろう通訳者の役割
		16:40-18:20	オンライン	B通訳理論11	聴通訳とろう通訳の協働することの意義
2/7	日	09:00-10:30	オンライン	B通訳理論12	事例検討(1)
		10:40-12:10	オンライン	B通訳理論13	事例検討(2)
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論14	事例検討(3)
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論15	事例検討(4)まとめ
2/13	土	13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳演習(1)
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳演習(2)
2/14	日	09:00-10:30	対面	ろう/フィ	通訳演習(3)
		10:40-12:10	対面	ろう/フィ	通訳演習(4)
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳演習(5)
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳演習(6)
3/27	土	am	対面	ろう/フィ	(自主準備)
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳実習(1) 講演会 通訳
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳実習(2) 講演会 通訳
		16:40-18:20	対面	ろう/フィ	通訳実習(3) フィードバック・まとめ
3/28	日	am	対面	ろう/フィ	(自主準備)
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳実習(4) 講演会 通訳
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳実習(5) 講演会 通訳
		16:40-18:20	対面	ろう/フィ	通訳実習(6) フィードバック・まとめ

○通訳理論講座は、2クラスに分けて実施します。 Aクラス 11/14-15, 1/16-17 Bクラス 11/21-22, 2/6-7

○ろう通訳者養成講座、フィーター養成講座を受講される方も、AクラスかBクラスかのどちらかを選択していただけます。(受講免除の方は除く)

○「ろう/フィ」は、ろう通訳者養成講座、フィーター養成講座の合同講座となります。12/5(土)午前は、ろう通訳者養成講座のみとなります。

○「対面/オンライン」は、対面もしくはオンラインで行なうものです。約1ヶ月前までに判断します。

○通訳演習と通訳実習は、コロナ感染対策を十分に講じた上で対面で行います。

オンライン講座を行なうにあたり、下記の件、ご了承くださいませよう、よろしく申し上げます。

- ・接続方法のご案内は行っておりません。・利用に必要な機器類や通信にかかる費用は、自己負担となります。
- ・回線やサーバの混雑等によるトラブル（接続できない、映像を見られない等）についての責任はおいかねます。

※本事業は、日本財団の「コミュニティ及び学術分野におけるろう通訳者・フィーターの養成事業」として実施されるものです。

意見交換会

春の兆しを感じる頃となりましたね。全国各地ではコロナ感染拡大で大変な日々を送っていることと思います。コロナの影響でオンラインでの会議、講座が増えており、手話教師センターでも今年度の理論講座とろう通訳・リーダー養成講座の一部を除いてオンラインで実施しています。

理論講座、ろう通訳・リーダー養成講座が始まってから早6年が経ちます。講座で学んだ後、地域での取り組みなどいろいろな意見を交換できる場をオンラインで実施する運びとなりました。

なお、今回、進行役として川上恵氏、江原こう平氏、宮澤典子氏をお招きしています。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：2021年3月9日(火) 20:00～21:30(5分前から入室可能)

参加対象：理論講座、ろう通訳者・リーダー養成講座受講生

参加費：無料

参加方法：オンライン(Zoom) ビデオオン必須

定 員：30名前後(申し込み多数の場合、抽選となります)

申込締切日：2021年2月28日(日)

申込先：<https://forms.gle/P5fckZPC6XcJLJtq8>

問い合わせ先：honyaku@jsltc.org



〈お願い〉

PCでの参加を推奨します。

利用に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。

回線やサーバの混雑などによる配信遅延、または未着などにより生じたすべての結果について責任は負いかねます。

また手話教師センターの記録としてレコーディングしますのでご了承ください。

国際手話で言語学(入門編)を学ぼう!

本講座ではろう通訳者として世界で活躍されているナイジェル氏をお迎えし、国際手話で言語学の入門(手話言語学含むかも)を学びます。(イマージョン教育)皆様のご参加をお待ちしております。

日 時:2020年11月~2021年5月(2時間×計10回)

	月日	曜	時間		月日	曜	時間
①	11/7	土	10:00-12:00	⑥	3/6	土	10:00-12:00
②	11/28	土	10:00-12:00	⑦	3/20	祝	09:00-11:00
③	1/9	土	10:00-12:00	⑧	4/10	土	09:00-11:00
④	2/6	土	10:00-12:00	⑨	4/24	土	09:00-11:00
⑤	2/23	祝	10:00-12:00	⑩	5/8	土	09:00-11:00

参加対象: ①(原則)ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生
②TISLR大阪(2022年)に何らかの形で協力いただける方

参加費: 法人会員・サポーター 10,000円 一般 15,000円

参加方法: オンライン(Zoom) ビデオオン必須

定 員: 12名(申込多数の場合、抽選となります)

申込先: <https://forms.gle/DrzvUuLwXSQVAGpy9>



申込締切日: 2020年10月24日(土)

使用言語: 国際手話(国際手話分からない方にもわかるようにお話しいただく予定です)

講 師: ナイジェル・ハワード(Nigel Howard)氏

ナイジェル・ハワード(Nigel Howard)氏プロフィール
Douglas College 専任講師(手話通訳学部、児童・家庭・コミュニティ学部)

University of Victoria 非常勤講師(言語学部
ろう通訳者(医療・精神保健・司法・演劇・コミュニティ分野・会議分野)として25年近く活動)

WFD-WASLI 認定国際手話通訳者
世界手話通訳者協会(WASLI)理事

<お願い>

利用に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。
回線やサーバの混雑等による配信遅延、または未着などにより生じたすべての結果について責任はおいかねます。
返金は原則、不可となります。





すべてのトピック



作成



2020/07/30 第6回オンライン講座資料

最終編集: 2020/07/30

2020/07/16 第5回オンライン講座資料

最終編集: 2020/07/29

2020/07/02 第4回オンライン講座資料

最終編集: 2020/07/01

2020/06/18 第3回オンライン講座資料

最終編集: 2020/07/01

2020/06/04 第2回オンライン講座資料

投稿日: 2020/06/03

2020/05/21第1回オンライン講座資料

最終編集: 2020/06/03

翻訳課題6 デフレのしくみ

期限: 2020/07/22

翻訳課題5 近所で起きたショックな...

期限: 2020/07/08 23:59

翻訳課題4 主婦らしくなった私

期限: 2020/06/24

翻訳課題3 インテ推進組

期限: 2020/06/10

翻訳課題2 靴のサイズ

期限: 2020/05/27 23:59

翻訳課題1 足の怪我

期限: 2020/05/13





すべてのトピック



作成



翻訳課題6 デフレのしくみ

期限: 2020/11/04

翻訳課題5 近所でおきたショックな...

期限: 2020/10/21

翻訳課題4 主婦らしくなった私 目 3

期限: 2020/10/07

翻訳課題3 インテ推進組 目 1

期限: 2020/09/23

翻訳課題2 靴のサイズ

期限: 2020/09/09

翻訳課題1 足の怪我

期限: 2020/08/26

翻訳課題B6



翻訳課題6 デフレのしくみ (翻訳文_...

投稿日: 2020/11/10

翻訳課題6 デフレのしくみ (添削返...

投稿日: 2020/11/10

翻訳課題6 デフレのしくみ (添削返...

投稿日: 2020/11/10

翻訳課題6 デフレのしくみ (添削返...

投稿日: 2020/11/10



翻訳課題6 デフレのしくみ (添削返...

最終編集: 2020/11/10



すべてのトピック



作成



翻訳課題6 腎臓を大切に 期限: 2月10日

翻訳課題5 韓国旅行に出発 期限: 1月27日

翻訳課題4 近所でおきたショックな... 期限: 1月13日

翻訳課題3 インテ推進組 期限: 2020/12/23

翻訳課題2 学童疎開の思い出 期限: 2020/12/10

翻訳課題1 デフレのしくみ 期限: 2020/11/25

翻訳課題C6



翻訳課題6 腎臓を大切に (翻訳文_全... 投稿日: 2月18日

翻訳課題6 腎臓を大切に (添削返却_... 投稿日: 2月15日

翻訳課題6 腎臓を大切に (添削返却_... 投稿日: 2月15日

翻訳課題6 腎臓を大切に (添削返却_... 投稿日: 2月15日



翻訳課題6 腎臓を大切に (添削返却_... 投稿日: 2月15日

オンライン翻訳講座 アンケート(自由記述式)原文ママ

A グループ(手話通訳全国統一試験合格者、または各自治体の登録手話通訳者)

【講座について】

カルチャーショックでした。

今まで、県内での養成講座などなど経験はありますが、教わったことのないことばかりでした。こちらを勧めてくれた東京の通訳者やリハの卒業生の言っていることが少し、理解できてきました。

手話の見方が違ってきたと思います。

翻訳・通訳のプロセスは、正直まだまだ分かりません。

もっと学びたいと思います。

今回よくわかったのは、日本語と手話が言語学的に違うことを具体的に教えて頂きました。そのひとつの「上位概念と下位概念」については恥ずかしいですが、知りませんでした。

この概念がないため、具体的な手話を日本語に変換して、前後のまとまりがつかない文章なったり、聞き手の意識に欠けていたりしました。

また助詞や数詞を扱う際にも、もっと考慮する必要があると感じました。

CLの翻訳は、別枠で勉強する必要性も感じました。

講座の期間中に勉強ができない状態になり、今は勉強ができる喜びを感じています。前よりも勉強が楽しくなりました。

今、私は要約筆記者、手話通訳者のほかに盲ろう通訳介助員をしています。

先ほどの諸先輩たちに、手話通訳一本にしろと常に言われています。

それぞれから得られるものがあり悩んでいます。

また下記に示したように、今回4つめの難病になりました。癌も4回経験しました。それでもまだ勉強できる機会を与えてくださって本当に感謝しています。

高齢のろう者の方のなかにも病を抱えている人がたくさんいます。負の経験ですが役立てればばいいなと思っています。(入院中にチャンスと医師にいろいろ質問して教えて頂きました)

今後も機会がございましたら、是非学ばせていただきたいと思います。

ありがとうございました。

【アンケートについて】

「努力レベル」に頑張れなかったにチェックを入れた理由について。

不覚にも入院を余儀なくされて、第3回の講義の不参加と4回は提出もできませんでした。入院が1か月以上となり、じっくり取り組めなかったことが残念です。

「参加への不安」について。

手話教師センターに昨年の年末に入会したばかりで、初めての参加でした。

ですから、講座に対することだけではなく、オンラインも含めて何もわからず全てにおいてドキドキでした。

「翻訳課題」どちらともいえないを選んだ理由について。

6本の数は適切であったのだと思いますが、私は全ての提出が出来なかったことと、講座が終わるころに体力が回復してきたので、これで終わってしまうのかと思うと、とても残念で仕方ありませんでした。

「対応」対面よりオンラインを選んだ理由について。

対面が一番いいと思います。今回の状況を考慮するとオンラインの方が、だれしものが不安を感じることなく参加できて良かったと思います。

個人的には病状は難病であったため、もし対面でしたら参加は不可能でした。

オンラインで良かったです。

開始前から、メールの受信の不具合で選考されたことへのお返事ができず、本来ならば受講ができなかったにもかかわらず、ご配慮をいただき本当に感謝しております。

初めて知ることばかりの貴重な勉強の時間でした。

ありがとうございました。

きちんと翻訳という作業をしたのはこんかいが初めてでした。この4月に地域登録手話通訳者になったものの、コロナの影響で研修などもほとんど開催できておらず、オンライン学習はとても力になりました。読み取りが苦手なので、あきれほど繰り返し動画を見て、どうしても読めない部分はスロー再生をして繰り返し見て・・という状況でした。先生もスロー再生されたりするのかなあ。

今日が最終回だというのに、子供の乱入ありうるさくてすみませんでした、、

また翻訳講座が開催されることを願っています！

とても勉強になりました！ありがとうございました！

こちら側の電波の関係か、時々動画や音声途切れることがあったので、録画や録音できれば嬉しいと思いました。

初めて聞く言葉がほとんどでとても不安でした。

統一試験にぎりぎり合格して、新型コロナの影響で勉強の機会が減り悩み焦っていたところに、この講座を知り参加しました。

私のようなレベルのものには勿体ない高度な内容でしたが、宮澤先生、スタッフの方々に大変お世話になり、全過程を受講できましたことに御礼申し上げます。

たいへん勉強になりました。参加させていただき、ありがとうございます。終わってしまうのが、とても残念です。また機会がございましたら、ぜひ、宜しく願いいたします。

コロナがなかなか収束せず、まだまだ我慢を強いられる状況下ですが、どうぞ皆さまご自愛ください。

この度の翻訳講座では、初めて知る事ばかりで大変勉強になりました。私にとっては教材が難しく、また時間的に余裕がない時もあり、課題提出は辛いと感じることもありました。でも宮澤先生には毎回とても丁寧に添削と講義をしていただき、やっと翻訳が分かり始めてきたので、もう少し続けたかったです。可能であれば来年度も受講したいと思っています。

いろいろとありがとうございました。この講座に参加できて本当に良かったです。

宮澤先生ありがとうございました。ダメもとで申し込んだこの講座だったので、ついていけるか心配で、不安ばかりでした。対面での受講が叶えば、それが一番ですが、今回のような機会が増えれば参加出来るチャンスが頂けるので個人的には非常に嬉しいです。『相手にしっかり伝わる(理解)こと』を念頭に置いて手話の環境に身を置いていきたいと思えます。ありがとうございました。

毎回の課題提出は難しく時間がかかりましたが、6本で終わるのは何とも寂しいです。「月イチ添削のみ」のようなコースがあれば継続受講したいです。夜間の通学は難しいのでオンラインで受講できて良かったです。今まで自分が曖昧にしていた課題が明確になりました。ありがとうございました。

手話を読み取りながら日本語の学び直しをしているような不思議な気分になりました。大変勉強になりました。またご縁がありましたら受講希望したいと思います。ありがとうございました。

手話の基礎や、自身が躓いている部分が明確になり、今後の自己学習に十分に反映できる課題を得る事ができました。

また宮澤先生の講義がとても分かりやすく、課題添削においては、つたない回答の中で、1つ1つ丁寧に添削して頂き、自身の弱い部分、日本語の大切さを学ぶことができました。

なにより、手話が楽しく、もっと知りたい、学びたいという意欲を掻き立てられ、講座や課題がワクワクする時間であったことが、私にとって手話と関わっていく本当の転機となりました。今回オンライン授業は新たな取り組みだったと思われそうですが、遠隔で生活している者としては、とても有意義な時間と、まだまだ学習を続けたかった気持ちでした。

手話と日本語の言語の違いについて深く考えることができた3か月でした。とても学びの多い講座でした。私の度重なる質問に、宮澤先生はいつも丁寧に答えてくださって感謝しております。ありがとうございました。

B グループ(手話通訳全国統一試験合格をめざしている者)

オンラインの時、頂いた資料と同じ内容の説明なので、1.30分全部は時間があったいなあと思った。少しの時間は、他の事に使えたかな…と思います。

手話の文法がわからないので、うなずきの場所による文章の作り方など…

翻訳の概念が変わりました。時間をかけても飛び越えられない翻訳でした。

と同時に 全部が読み取れなくても 内容があつてれば良いと自分に言い聞かせていますが、

同時通訳時は どうしても単語を追ってしまいます。
又 滑舌の悪さ、日本語の語彙力の無さは今後の課題です。
分かりやすい指導をありがとうございます。
6 回では物足りなさがあります。
遅れてしまいました

とても素晴らしい講習でした。翻訳に関して考え方がはっきりして、今後の勉強への指針になりました。
約 6 年勉強していますが(特に翻訳に特化せずただ手話の勉強ですが)、このように理路整然と教えていただいたのは初めてで、毎回感動していました。どこまで目標言語に直すのかまた目指すのか、どのように努力するのか、まだまだ難しい課題ですが、目指す目的がはっきりしたと思います。ありがとうございます。また機会を見つけて是非講習を受けたいと思います。

お世話になりました。回答通り、受講して本当に良かったです。日本語の表現もさらに注意が必要だとわかりました。丁寧な指導をありがとうございます。

今後も勉強していきたいので、ぜひまた開講していただきたいです。

とても丁寧に添削していただき、ありがとうございました。日本語のチョイスについては、学ぶことが多かったです。ただ、講義が一方的だったため、他の参加者との意見交換が出来なかったことや、質問の時間が短く、考えがまとまらない時は声を上げる事が出来なかったことが残念でした。

添削の時点である程度わかるので、講義は少なくともよかったかなと思いました。

手話の読み取りが未熟でご苦労されたところもあったかと思いますが、根気強く指導してくださり、ありがとうございました。

過去に習った内容の復習を含め、改めて学ぶ事で知識の中が広くなりました。以前、先生にアドバイスをいただきました、天声人語の書き取りは、今も続けています。散々な翻訳でしたが、2 年近く続けていることになりですね。最近では、声を出して読むことも付け加えました。早速、中 3 の国語のワークにもチャレンジしようと思います。私は、リハに通う事が精一杯だったので、やり残した感がたくさんあります。それでも、今思えばとても贅沢な時間でした。今回は、オンラインでしたので、先生とのやり取りも対面のようにはいかず、もどかしさもありましたが、質問の時間を利用して、僅かな時間、先生と会話が出来た事も嬉しかったです。この講座で習った事を意識しながら、通訳活動を行いたいと思います。土試験も頑張ります。ありがとうございました。

先生に会いたいよ～

C グループ(手話通訳士)

この講座を受けて大変勉強になりました。オンライン実施のおかげでスケジュール調整の上参加することができました。

課題提出と添削、そして講義という授業ははじめての体験でとても勉強になりました。ただ課題に取り組むのがいつも時間いっぱいとなってしまう、もう少し余裕を持ってできていたらなお勉強になり身についただろうと反省しています。なにより添削する宮澤先生にもご迷惑おかけしたかと思いますが、お詫び申し上げます…。

手話通訳やその翻訳の楽しさを知り、また奥深さ難しさも痛感しました。自分の技量を上げられるよう精進します。

また同様の機会を設けられることを願い、参加させていただけることを願っております

宮澤先生、事務局の皆様、いろいろとありがとうございました。

6 回目の課題について、読み取り通訳の音声が入ったものに、迷いながら課題を行い提出しました。事前にきちんと確認をすればよかったと反省しています。新しい学習方法だと思っていました。手話の翻訳についてたくさん学ぶことができ、とても勉強になりました。ズーム研修なので、自宅で学べたのも非常に良かったです。ありがとうございました。

初めて受講しましたが、目から鱗なことがたくさんありました。課題は苦しいのですが、楽しみでもありました。添削が明確で、他の方の翻訳も参考になりました。講座資料はプリントして、書き込んだので繰り返し振り返りたいと思います。

会議通訳者の本もしっかり読みました。

ぜひぜひ、また受講したいです。

勇気を出して受講して良かったです。ありがとうございました。

初見で読むというのがプレッシャーで課題を先延ばしにしてしまい、毎回締め切り間際の提出となっ

てしまいました。(毎日が夏休みの宿題やってない 8 月 31 日の子供のような心境)課題は早めにいた
だけののに、時間の使い方がまた別の自分の課題だったように思えます。

ありがとうございました。(ちょっと寂しい)

大変お世話になりました。目から鱗のことばかりでした。来年度も是非とも受講したいと思っております。
翻訳の講習を受けるのは初めてでついていけるか不安だった。案の定レベルが高く、場違いな感じも
したが、宮澤先生が導いてくださったおかげで、何とか終わることができた。これからも機会があれば
学びたいと思う。ありがとうございました。

ありがとうございました。

大変学びの多い講座でした。

私は、同時に日本語→日本手話の翻訳にも取り組んでいたのですが、一段と言語の違いと翻訳の方
法を理解することができたと感じています。

それとやはり日本手話→日本語の方がいろいろ対応を考えて翻訳することができ、改めて第一言語日
本語だと思いました。

これからも技術向上に取り組んでいこうと思っています。

ありがとうございました。

これまでのうん十年間の口述通訳、翻訳技術学習にこのような方法で取り組んでくることはなかったた
め当初戸惑いもありましたが、回を重ねるたびに新しい発見とともにこれまで私は何をやっていたのか
と後悔の念に苛まれておりました。見えていても言葉にできない、また見えてない、誤訳など反省しきり
です。また、翻訳作業の際に適切な語彙の選択や文章を考えることをあたらめて学習することができま
した。まだ、まだ、まだ、だと思いました。これからも勉強を続けたいと思います。ありがとうございました。

追伸

受講者のみなさんとは何かお話したかったと思いました。

(縁あってクラスメイトになったのですから、もったいない気がした)

通訳理論講座 アンケート(自由記述式)原文ママ

講義「通訳論規定の内容と基本的概念」
有意義な時間をしていただき感謝しております。

通訳倫理講座のみ受講しております。

この2日間、宮澤典子先生からは、場の調整についてを考えさせられ、川上恵先生からは、耐えず分析し、批判的精神を持つことが大切だと教えて頂きました。これまで、通訳業は、技術のみ、と思っておりましたが、今回の議論で奥の深さと、自分の知識の低さを痛感しました。

私自身、ろう教育現場に身を置く立場ですが、似たり寄ったり、と思うところもありました。

通訳理論講座は、残り2回となりますが、今回得たこととして、特に印象に残っているものは、まずは自分の置かれている立場を理解し、それをどう変えていくか、です。

マイノリティとしての、聾者像。マジョリティとしての聴者像。一括りに論じることはできないことも学びました。

川上先生が終盤に仰っておられた、色んな人がいてこそ、まずはその人を受け入れる姿勢の必要さ。言葉に対して責任を持ち、尚且つ敏感になることでの言葉の「面白さ」を知れる醍醐味。そして、自分が変われば他者も変わる、これは、凡ゆる業界に言えることでもあるな、と思ったものです。

私自身がしっかりとこの講座で得たことを、現場に還元し、サーベイしていかねば、と思っております。学ぶことは、真似ぶこと、つくづく学問の面白さ、議論する醍醐味を徐々に味わえたような気がします。

講師の方々、裏方で支えて下さる方々には、ただただ感謝申し上げます。

ろう通訳に向け、邁進して行く次第です。残りの講座もどうぞ宜しくお願いします。

発言する機会はあるも、画面を通して読み取ることに慣れておらず、発言のタイミングが掴みにくかった。

講義「通訳現場における場の調整力①②」

ろう者側は通訳の経験がないため内容が初歩的なものに終始してしまった印象。グループワークの回数をもっと多めにとって、聴者、通訳経験のある参加者の体験談をもっと聞く時間があると良かった。

貴重な学びの時間をありがとうございました。

意見を言えたものの、言葉足らずで伝えきれず悔やまれる。

言葉を扱う者として、日々の努力を重ねたい。

ろう者と聴者をつなぐ立場である通訳者の「場の調整力」の大切さ、大きさを改めて実感した。

ディスカッションを増やしてほしいです。

講義「手話通訳者のあり方①②」

2連日はちょっときつい面がありましたけど、有意義な時間をしていただき感謝です。ありがとうございました。また次回もよろしくお願い致します。

批判することなく建設的な議論が出来る場や経験が少ないので、大変貴重で有意義な時間だった。参加者の意見発言や質問を中心に進めるやり方は、主体的に講座参加できるのでとても良かった。川上さんの進行、調整技術を体感でき、通訳者としての難しさ厳しさを実感した。

地元では、通訳者がまるでボランティアであるかのようで、日々悩み、葛藤している。違和感のある頼み事を受けた時に、ただ断るのではなく、今回の学びを通し得たものをもとに自分自身が理路整然と話出来るようにしたい。

貴重な学びの時間をありがとうございました。”

これから「通訳者としての心構え」を意識して、少しずつでも身につけていきたいと思った。

文書を読むだけでは1分で済むかもしれない内容でも、その意味や意図を掴むにはそれ以上の時間がかかります。これは人によってかかる時間がバラバラだと思いますが、私自身は時間かかる方だと思ったので、それぞれの言語の言葉や文書の意味や意図を掴む練習なども必要だと痛感しました。

PPの見せ方や講師としての指導方法も大変わかりやすく、テーマに対して考えることに集中でき、と

とても有意義な時間でした。次回の講座もとても楽しみにしております。

経験をもとにされたお話はどれも大変勉強になりました。ありがとうございました。

学ぶたびに「通訳」の責任の重さを痛感します。だからこそ、この機会にまたしっかりと仲間たちとともに学びを深めていきたいと思います。次の講義も楽しみにしております。よろしく願いいたします。”

同じく資料を出しながら説明してほしい。

講義「通訳論①②」

通訳の前に「コミュニケーション」とは何か？ 当たり前のように使用している言葉の一つ一つしっかりと考える必要があること、勉強不足だと痛感しました。

またろう者から見た庁舎のイメージ、聴者から見たろう者のイメージについて討論することで、まずはそのイメージに対しての対応や説明の仕方を身につけ、そこから様々な意見などを伝えることが重要だと実感しました。イメージ(すなわちステレオタイプやバイアス)をまず取り除くことで、伝えたいことを説明するのにもっとも有効な方法なのだと実感しました。ステレオタイプ・バイアス・価値観・分析力・批判的思考・内省・尊重と自分に足りないもの、必要なもの・人として大事なことをしっかり学びました。他にもたくさんありますが、特にこのことができてないと通訳として成立できないと強く思いました。

素晴らしい講師のお二人から非常に内容の濃い講義を受けることができ、とても充実した二日間でした。学んだことをきちんと振り返りながら、今後に生かしていけるようにしたいと思います。ありがとうございました。次の講義も楽しみにしております。”

資料を出しながら説明してほしい。

講義「コミュニケーション論」

私自身の不手際で、受講修了できませんでしたが、講座を一通り受講できたことに感謝申し上げます。倫理要綱論からスタートし、社会言語学、コミュニティ論、コミュニケーション論等と、考えさせられることばかりでした。予め予習はしていたものの、実際例としての事例検討では、発言機会はなかったものの、自分だったらこうしよう、と考えました。考えることは即ち、論理がなくては先に進めないものだ、ということも感じさせられました。利用者のニーズ、背景、育成歴、知的レベルなど、そういったところを踏まえて考えることは、ろう教育に似ていました。

他者の質問、そして経験談も大きくプラスになりました。ろう通訳の身分保障についても興味があります。まだ齧った程度の知識ではありますが、今後、ろう通訳者の社会参加と実現に向けて、私も関わっていかれたらと思っております。

素敵な学び場を提供して頂き、本当にありがとうございました。コロナ禍で大変ですが、ご自愛くださいませ。

とても有意義な時間でした！私は地方に住んでおり、ろう通訳者という認知度はまだまだ低いですが、通訳者のあり方や倫理、コミュニケーションとは何かと改めて考える必要があること、対等で何ができるか色々な引き出しを持って行動できるよう頑張っていきたいと思います。最後に受講者の皆さんと色んなお話というか、ディスカッションをもっとしたかったです。

コミュニケーションについて分かっているつもりでしたが、まだ理解していない部分があり、言語だけではなく文化も繋ぐことの大切さを学んだ。

講師によって講演やり方が異なるため、高木講師の Zoom の使い方など共有確認を行ってもらえるとスムーズだったかなと思います。途中、利用者のろう者に対しての敬意がない表現をされていた感じがして、通訳倫理講師されてる立場として少し不愉快でした。

講義「社会言語学視点の手話通訳分野」

今回の社会言語学は大変勉強になった。もっと勉強したい。

一つ気になる点として、ディスカッション場面での、受講生の論点の逸脱が目立っていました。話し合いのルールなど、不慣れな方もいらっしゃるのではと思います。そこも一つ掬い上げ、教示されても良いのかと思いました。

長時間の受講に疲れも生じるのは当然のことと思いますが、画面上の態度は筒抜けです。スマホを弄

っている者、髪遊びをしている者などいらっしゃいました。新しい生活がスタートし、新しい学びが始まっている中、オンラインでの受講ルールも明示して良いのかと思います。

初めて知る「社会言語学」は大いに学べたかと思う。背景を知る為にはあらゆる面で考慮することの大切さを学んだ。

講義「ろう通訳者の役割」

川上先生の経験話が特に参考になった。

講義「聴通訳とろう通訳の協働することの意義」

現場の状況を知る機会が出来て、再確認が出来た。

6日の午後(川上講師)の講座はろう通訳と聴通訳の関係性の重要さを深く深く考えることができ、またプラスになる付き合い方など人間関係の信頼関係だけではなく、社会的倫理においても大事なことに気づかされました。

事例検討①②③④

聴者とろう者のグループのとき、時間がもう少し欲しかったという気持ちがありました。いい経験になり、有意義な講座を受けられてよかったです。講師の皆様、スタッフの皆様、色々とお手数をお掛けいたしました。感謝しております。ありがとうございます。

ろう者、聴者、住んでいる地域も違う人たちと『通訳』についていろいろな討議ができてとても良かった。特にろう者の考えがたくさん聞くことができたのがよかった。

事例を事前に受け取っていただければ、もう少し内容を理解した活発な意見交換の場となったように思う。また、地域の課題をベースとし、事例を読む為、事例の背景と発言者の背景を zoom 講座という環境+短時間では理解しきれないと思った。

様々な通訳現場があり、状況によって対応が変わってくることに、イメージがなかなか掴みにくかった。やっぱり経験してみないと分からないことだと思うので、今回は参考として数件確認できて良かったです。

グループでの話し合いで、ろう者・聴者それぞれの視点が違うところが面白かった。

「多様な価値観を受け止める」とあったのはブレインストーミングを進めるということだったのでしょか。長時間に渡る zoom 受講の為、目の疲労から頭痛も起こり、より意見が出しにくいように思った。

事例についてもっとディスカッションをしたかったです。わたしの場合、ペアは全てろう者だったので、聴者の意見などもっと聞きたかったです。

答えが一つではないことで、みんなの意見を言いあう機会のはめつたにないので、いい勉強になった。立場を変えることでお互いに尊重し合えるいい機会でした。

もしかしたら、講座中の自分の発言により講師や聴通訳を目指している人に対して失礼な発言(不愉快な気持ちになるような発言)をしたたかもしれません。これまでの経験から多くを語っていたこともあり、不愉快になるような発言をしていたたかもしれないとあとで感じ、川上講師がおっしゃっていたように言い方ひとつでプラスにもマイナスにもなることを肝に銘じ、少しずつ改善していきながら自分の主張ができるようにしたいと思いました。このような機会を作っていただきありがとうございました。

講座全体に対するアンケート

ZOOM での終日参加は眼精疲労が酷く集中力も保ちにくいので、できれば半日ごとか対面での開催にしていきたいです。参加者の中に、画面上の背景や明るさに注意を払わない方がいて目が疲れるので、運営サイドから注意を促していただけますと助かります。

受講出来て良かったです。長時間ありがとうございました。

オンラインでの欠点、首やお尻が痛くなりましたが、コロナ禍で大変な中、受講できる機会を設けて頂き感謝しています。”

事務局より質問は気軽にメールでと言ってもらったが、初回 5 分でも良いので zoom 対面での質疑の時間を設けると良いと思う。(休憩時間中に対応頂きありがとうございました)

また、各々講座の目的・目標なども簡単に説明があると良い。参加者も共有でき、モチベーションをあげて講座参加しやすくなる。

オブザーバーとして参加させていただきましたが、講師と受講生の多角的な視点を得られ、大変勉強になりました。ありがとうございました。

ありがとうございました。

ろう者の意見を聞くことができ、大変勉強になりました。

ZOOM は現地に集まらなくて良いというメリットがありますが、今回の人数だと画面が小さく、一日通しての講座は、目が厳しかったです。

次回もよろしくお願いいたします。

貴重な学びを得るチャンスを下さり、ありがとうございました。

zoom操作に慣れておらず、大変お世話になりました。

以下、私のPC設定に問題があるのかもしれませんが・・・

グループ討議(4名)について。

4分割の画面ではあるも、1人が画面の大部分を占めており、残りのスペースに3人が映っている状態。読み取ろうと努めるも、3名の画面が小さく読み取れない事が多々あり、大変苦しく残念に思いました。

次回講座での学びも楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

とても内容の濃い 2 日間でした。私は地域の講習会で学んだだけなので、(地域のろう者と登録通訳者が講師)きちんと理論を学んだことがなかったので、とても良い勉強になりました。これまで理解していたと思っていたことが、曖昧に理解していたのだとわかりました。

年明けの講座も楽しみにしています。

意見交換などとても勉強になります。ありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。

川上先生の話は分かりやすく、講義のメリハリがあって集中できました。また次の予定をあらかじめ教えていただき、不安を感じなかった。例 PPT を三枚見せてから私が話し、質問します。など。二日目だったこともあり、疲労感が半端なく、宮澤先生の話聞くのが辛かったです。でも内容はとても参考になることばかりでした。後でゆっくり資料を見させて頂きます。ありがとうございました。

大変有意義な時間でした。

通訳倫理を受けることでこれまでの自分の行動を見つめ直すことができました。また通訳を依頼する(利用者)立場としても、通訳する立場についての倫理を知ることでこれまでの課題(悩んでいたことなど)に向けてのヒントとして多くの収穫がありました。都内だけではなく、地方でも通訳倫理だけの講座をもっとたくさんの人に受けられる場があったら、地方で活動している人たちにとって心強くなると思います。お忙しいと思いますが、是非このような講座をもっと気軽に(言い方失礼かもしれませんが)、身近に受けられる講座として設けて欲しいと思いました。とにかく大変有意義な時間で非常に楽しい講座でした。

講座に対しての意見ではありませんが、個人的な意見(要望)としてです。

講座の後、同じ講座を受けた人同士で話せる場所が欲しいです。さらなる意見交換ができる場所が欲しいといつも思っています。例えば受講者のなかで知ってる人がいれば環境があるかもしれないのですが、特に地方の人はこういった繋がりが非常に薄く、環境がほとんどありません。もし差し支えなければ、講座とは別に受講者同士(希望者のみ)の対談ができる場所を作って欲しいです。

ありがとうございました。来年も大変楽しみにしております。毎回素晴らしい講師陣の素晴らしい講義内容に感動しております。このような素晴らしい機会をありがとうございます。

休憩時間をもう少し長くしてほしい。画面をずっと見るだけ目が疲れて集中力が切れるため。

通訳理論講座で得た知識や今後の活動経過について、今後も情報や相談などを共有できるようなアフターフォローの場を設けたらどうでしょうか？

講師の皆様、ご準備いただいた皆様、お疲れ様でした。

とても勉強になりましたし、いい刺激になりました。

本当にありがとうございました。

発言者にスポットライトを当てて欲しい

端末機器によっては画面が小さくて手話が見えない

だから講師じゃなくても発言者にスポットライトを当てて拡大してほしい

今回の講座では、基本的な土台を築くことができ、通訳だけではなく、自分を成長するいい機会でした。

また、川上先生の手話は品があってとても魅力的でした。まずは普段の会話から磨き、経験を積みながら信頼関係をしっかり作り上げたいと思った。躓いたときは、講座で学んだことを思い出したり、復習したりして日々成長していきたいです。どうもありがとうございました。

本講座、運営方の対応には大変満足しています。

ありがとうございました。

全体の満足度で「満足している」を選ばせていた理由は、
オンライン形式上、受講生同士の交流が物足りなかったことから、選ばせていただきました。

とても満足しています。ですが、いい意味でもっと受けたいという気持ちがあるのでまだ満足していません。今後ももっと企画を立てて欲しいです。

また東京都以外の人も参加しやすいオンライン Zoom 企画を来年度以降も是非続けて欲しいです。
(早速知人に情報共有していきたいと思っています。)

本当にありがとうございました。
